産業建設常任委員会　摘　録

１．開　催　日　　令和８年６月15日（月）　　第２委員会室
２．出 席 委 員　　吉川遂也委員長　宇山茂之副委員長　福山権二　徳永泰臣　堀内富夫　木山義仁
３．欠 席 委 員　　なし
４．事務局職員　　近藤淳議会事務局長　横山和昭議会事務局議事調査係長
５．説　明　員　　なし
６．委員外議員　　なし
７．傍　聴　者　　なし
８．会議に付した事件
　　１　所管事務調査について
　　２　閉会中の継続調査について

－－－

午前10時03分　　開　　議

○吉川遂也委員長　　ただいまから産業建設常任委員会を開会いたします。傍聴、録音、写真撮影、録画を許可いたします。

－－－

１　所管事務調査について

○吉川遂也委員長　　本日の協議事項は所管事務調査についてです。昨年度から調査しておりました、農業振興計画の策定及び多様な担い手への支援等についてという所管事務を行ってまいりました。新たな農業振興計画が４月から策定されたことと、補助金の内容もある程度固まったことをもちまして、この調査事項については６月定例会の中で報告をして一旦終了することについて、先般の委員会の中でご同意いただいたところです。そのまとめの内容について、皆様にお諮りしたいと思います。事務局からメールで事前にお配りした内容について、取りまとめは副委員長にお願いしておりました。副委員長から概要について説明をいただければと思います。

○宇山茂之副委員長　　皆様にお配りしている報告書案ですが、令和７年度に入って新しい第３期農業振興計画ができるということで、それにあわせて進捗状況を聞きながら、将来の農業経営の在り方や多様な担い手について皆様で協議しながら進めてまいりました。調査経過といたしましては報告書案に掲げておりますが、それを踏まえて各協議内容をそれぞれまとめております。最終的なまとめ、提言といたしましては３点挙げております。この１年間を通して振興計画を皆様と協議する中で、新しい戦略型の攻めの農業と地域継承型の守る農業の２本立てとして、新しく計画がなされていることにも一定の評価をしております。その中で３点挙げているのですが、一つ目が、今後における庄原市農林振興公社での作業委託の推進と実効性の確保という提案をしております。２番目が確実な情報伝達と手続等の簡素化を目指すということです。３番目といたしまして、現場の声の継続的な聴取。現場の声を聞きながら計画を実効性のあるものに進めていこうということで、提案を三つしております。以上、簡単ではございますが、報告書の中身の説明です。

○吉川遂也委員長　　ただいまの説明について、加える部分があれば加えていただきたいと思います。また、疑問点などがあればご発言いただければと思います。いかがでしょうか。よろしいでしょうか。では、お配りした内容をもとに報告書を最終的に作成しまして、定例会最終日に委員長報告として報告をさせていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

－－－

２　閉会中の継続調査について

○吉川遂也委員長　　次に、閉会中の継続調査について協議いたします。本日先ほど決めた内容で６月定例会に報告するわけですが、今残っている調査項目は鳥獣被害対策等についての一つとなっております。この農業振興計画の代わりにもう一つ、何かテーマを掲げようと考えております。皆様から何かご提案があればお願いします。

○木山義仁委員　　所管事務調査についてですが、一つは昨年度の市民と語る会や市民の方々とお話しする中で、庄原市内の観光資源を有効に生かして、観光客をさらに招くような方策が必要ではないかという意見を多くいただいております。そういう意味では、現在執行部で観光事業計画が作成されていると聞いておりますので、庄原市における現在の資源を生かしてどのように観光を振興していくか、そういったところを調査してはどうでしょうか。

○吉川遂也委員長　　ただいま観光面が一つテーマになり得るのではないかと意見が上がりましたが、ほかにございますか。

○堀内富夫委員　　観光面もぜひやりたいと思います。もう１点やりたいと思っているところとして、都市部、庄原地域、東城地域、西城地域の開発の計画を見ていきたいということがあります。

○吉川遂也委員長　　庄原版コンパクト・プラス・ネットワークの計画も今年度、どういった形になるかは分かりませんが、提出されるのではないかと思います。その辺りを注視するという部分もありました。ほかに皆様からご意見はございますか。庄原版コンパクト・プラス・ネットワークの部分につきましては、私が聞いている中ではまだそれほど動きがないという点と、都市整備課が検討の中心にはなろうかと思いますが、今年度中に何かすぐ成果物が出るような段階にはまだないかと思います。木山委員からもありましたように、観光面の話として商工観光施設について、本市は多くの商工観光施設を所有しています。先般新聞にもありましたように、高野の温泉施設で大規模改修が必要なのではないかということや、東城の道の駅のトイレがどうなのかといった、それぞれの施設について改修あるいは大規模改修になるかといった検討を、執行部も今後の在り方について検討されるという話を聞いております。そういった面で、商工観光施設や観光客の誘客施設などの在り方を検討するというのも一つの方向性かと考えておりますが、皆様からご意見はございますか。

○福山権二委員　　意見が出しにくいのは、定例記者会見でも市長が十分調査して十分議論をし、これからの方向性は市の活性化や人を増やしてきちんとやりたいと。議会もいろいろ調査して市長に提案しようと。観光資源も確かに重要なことですが、それぞれＪＲの特別委員会などがあって調べている中で、今、観光という提案があったのでそれはそれで十分いいのですが、人口を増やすことについては、執行部はもう無理という感じがある。人口は増やさないけれども観光でどんどん来てくれと。今、年間の出生数が67万人になったのでしょう。議会がどこまで議論するかですが、明治維新のときに3,000万人だった人口が今１億人を超えているものの、今の流れでいけばまた3,000万人、4,000万人に戻

るのではないか。そういうときに人口を増やそうとか、観光で外国から呼び寄せて市の活性化を図ろうということが、現実に可能なのかという感じがします。農業の関係もきちんとまとめてもらっていますが、人がいない状況です。担い手が増えるなどということは普通では考えにくいですし、今、地域で農地を広げようとしておりますが、10年先なら自分はいないから好きにしてほしいというような話になるようです。何が言いたいかといえば、例えば農業を活性化させて人口や産業を活性化させようと考えているのか、市長の方向性がよく見えない感じがします。独自に議会がきちんと考えればいいのですが、位置付けがよく分からない感じがするのです。私の情報不足かもしれませんが、皆さんはどう思われているのでしょうか。例えば観光も大事ですが、市長は自分が市長になったら林業活性化はすぐできると公約に掲げておられましたが、林業をどういうふうに計画しているのかもよく見えません。産業的には農業技術大学もあり県立大学もあるのだから、庄原実業高校に林業科をもう１回つくって日本全国から生徒を募集し、林業の専門家をつくってはどうかという話も議会からは出ましたが、あまりそういった提案は出てきません。庄原市の活性化をどう図るかが見えない気がするのですが、皆さんはどう思われているでしょうか。

○吉川遂也委員長　　大変大きいテーマになってきています。人口減少問題をどう捉えるかという点もありましょうし、人口減少の中でどのように市を活性化させるかという点もあります。私が聞いている中でいえば、人口が減りながらも例えば産業は効率化して経済成長を伸ばすことや、農業についてはこの農業振興計画にもありましたように、スマート農業を推進して人手がかからないようにこれまで以上の規模で効率化して行うという方向性を、国は示しております。しかし、現実的にそれができるものかどうかはまた別問題です。いわゆるコンパクト・プラス・ネットワークという計画が出始めているのが現状かと思います。それを踏まえて、観光施設についてもどのようにコンパクト・プラス・ネットワークで縮充あるいは縮小していくのか、そこをどう充実させるかというのが非常に大きいテーマなのかなと思います。そういった点も含めて、いわゆる関係人口の増加という部分を市は狙っていこうとしているのだと思います。現実的に社会増を狙うことや、自然増はなかなか難しいという点を踏まえておられるのだと思います。産業建設常任委員会として産業の活性化を所管する立場としては、どういったテーマを持っていくかについて、人口減少は当然切り離せない問題です。そこをベースにしても、すごく人口が増えるような曲線にはならないで間違いなく減るので、減る中でどのように産業を維持・活性化させるかという、二律背反ではないですが新しい考え方を持たないと達成できないという視点でテーマを持って検討していく、あるいは現状をどう変えていくかという調査をしなければならないと思います。一つの切り口は先ほど申し上げたような観光面かもしれませんし、堀内委員が言われた支所を含めたコンパクトシティーの在り方をどうまとめていくかという考え方もあるかもしれません。農業については一定程度検討いたしました。福山委員から先ほど林業の部分について言及がありましたが、林業もまた一つの所管ですので検討すべき事項とは思います。

○福山権二委員　　林業でこのようにしようと思っているわけではないのですが、産業建設常任委員会として今の状況をどのように見ているのか、ある程度意思統一が必要だと感じます。ＡＩが進み出したら庄原市の職員も激減するのではないか。支所もいらなくなる。市民と語る会のテーマで、今後の自治振興区はどうあるべきかが出てくるわけです。皆どうしたらいいのか分からないという感じや、これだけ人口が減っているのだから庄原市の行政をもっと地域に任せてほしいと。地域に任せて市にいちいち細かく聞かなくても、自治振興区に予算をいくらかくれたらそこで決めさせてほしいといった

雰囲気があったりします。それから、いつも何かをするのに支所から来ているのでは。郵便物を取りに来ることもあるのでしょうが、来てからここで決裁する。ですから支所機能もずっと下がってくるのでは。個人的にはこれだけ山があるのだから、林業をすぐすると市長は言ったので、既に１年がすぎているので林業の大きな構想を早く出してほしい。市長に早くしろと言うと圧力団体になっても困るので、その辺りを考えた上で何を研究するか。そういった意味で観光に反対するのではない。取り組むことは非常にいいことですが、全体状況として皆さんが現在地域や状況をどのように見て、観光のことをどのように捉えられているのかを短時間でも議論してはどうかと思います。それに絡めてＪＲの問題などがあるわけです。

○吉川遂也委員長　　では時間を設けましょう。それぞれ何か所感があればお願いいたします。

○宇山茂之副委員長　　観光振興を調べたら、第２期の観光振興計画がだいぶ前に切れているのですが、新しい取組は今年度でしょうか。観光という言葉は出るのですが、全てDMOに任せるような流れになっており、そこら辺りの連携というか、しっかりDMOと一緒になってやっていくという方向が見えないような気がします。そういったところも踏まえて観光振興課と今一度、一つ一つ皆で協議しながら進めていかないといけないと思っております。

○堀内富夫委員　　昨日とある話を聞き、今この時代に住民基本台帳の数だけを見ていろいろ判断しない方がいいという話がありました。50年ほど前と比べると車で行き来している人口は４倍ほどに膨らんでいるため、その辺りの関係交流人口にも注目した方がいいのではないかという話もありました。いわゆる来て見てすぐ帰るという観光にとどまらず、いかに関係してもらうか。はやりというわけではありませんが、関係人口にも注目して、いかに来てもらった人にお金を落としてもらうかという点に注目していけばいいと考えております。

○吉川遂也委員長　　先ほど福山委員が言われた林業の関係は、今年度からマスタープランがスタートいたします。マスタープランの内容を去年の長期計画の中でやって、マスタープランの中でこの委員会でも協議してきたわけですので、その中身を再度これはいい、悪いというのもなかなか言いにくい部分があります。そのため、これはマスタープランを実行しているかどうかという観点で、委員会としては注視していくという方向性でいいと思います。それから自治振興区や支所の在り方について触れられた点につきましては、自治振興区については所管が当委員会から離れましたので、ここでは追えない部分があります。支所についても行政改革ですので恐らく総務の部局になるかと思います。そちらで連携を取って、話を聞いていかなければならないと思います。関係人口の話で進めてもいいですし、テーマを観光といえばかなり大きいため、観光についてというわけにはまいりません。もう少し深掘りした、例えば関係人口というテーマのキーワードもありましたし、ほかに観光交流施設や観光振興計画というキーワードも出てきたかと思います。そういったところで絞るか、ほかに何かテーマの設定はありますか。

○徳永泰臣委員　　観光といってもかなり広いです。広い問題ですので、今注目されているＪＲ芸備線も含めた観光活用も考えていかなければいけないでしょうし、ＪＲ芸備線の存続はやはりこの人口減少問題にも大きく関わってくる問題だと思うのです。絞れと言われてもなかなか絞りにくいです。観光振興計画や、観光振興についてといったことになってくるのではないかと思います。ここに重点を置く、例えばＪＲに置くというわけにもいきませんし、各宿泊施設についてだけ置くのもおかしいです。そうなると、やはり結構大きなもので考えていかなければいけないのではないかと私は思うのですが、

ここを重点に置いても前に進まないのではないかと思います。

○吉川遂也委員長　　あまり大きいテーマになると、逆にテーマが絞りにくく何を課題として捉えているのかが見えにくいという点はあります。当委員会としては、前の期あたりから具体的なテーマである程度絞った内容で検討していこうという方向で、以前は農業振興について、観光振興についてといったテーマでいろいろあったようですが、それを修正して少し視点を絞っていこうという流れを出しております。大テーマではなく中テーマに向けた話で、まとめて三つほどの細かいテーマを追いかけていくというような方向でもいいかと思います。

○木山義仁委員　　私は、委員長がおっしゃった施設のところに的を絞ってやればどうかと思います。市の財政や、堀内委員がおっしゃったように関係人口と絡めつつ、あまり広げずに施設や道の駅、あるいは帝釈峡といった市の持ち物が財政的にどうかという観点も含めて調査してはどうでしょうか。あと福山委員がおっしゃった森林については、計画も今動いている中で、新しい市長になられてリモートセンシングという新しい取組もされている。実効性や効果を委員会でしっかり見ていくという意味で、林務は少しこの調査から外すといいますか、どちらかといえば観光面を優先した方がいいのかなと思います。

○吉川遂也委員長　　基本的に所管が変わりまして産業建設ですので、林業、農業、商業、観光、それから建設部局の所管になります。企画も自治振興もありませんので、ある程度満遍なくと言ったらおかしいですが、各担当課にある程度偏りがないような調査の方向があってもいいかと思います。農業を今回終わらせて、現在は鳥獣被害対策が主に林業振興、それからその前はリモートセンシングも行いましたので林業振興を行いました。そういった中で畜産関係の農業の部分も４年前にありましたし、過去そういったところでずっと回ってきて、観光振興の部局の部分が何年かない点も気になったところです。建設の部局に関して、特にこのテーマと挙げられるようなものが思いつかないといいますかあまり分からないので、建設関係についてでも当然構わないのですが、先ほどDMOという話もありましたし、商工、観光というところで何かしら中テーマを設けて、細かいテーマを三つほど調査していくという大枠を決めたいと思いますが、方向性としてはそれでよろしいでしょうか。

〔「はい」との声あり〕

○吉川遂也委員長　　では、観光振興については少し大きいのですが、どういう文言がいいでしょうか。

○福山権二委員　　先ほど堀内委員がおっしゃったように、行政は関係人口を増やそうというのを非常に強調されており、以前の企画もそうでしたが、関係人口、二重国籍ではありませんが、そういった点を踏まえてもとにかく庄原市に関係する人口を増やし、関係する人口の中で庄原市がいいところだと、移住してもらおうという戦略で考えております。関係人口もポイントにしながら、観光施設もそれに関連付けてどうかということをテーマにしてやればいいのではないでしょうか。

○吉川遂也委員長　　恐らく今度の観光振興計画についても、関係人口を重視する方向で出るとは思います。観光振興計画の進捗を農業振興計画と同じように追いかけると。観光振興計画及び例えば観光交流施設の在り方についてとすれば、観光振興計画の中に例えばＪＲがどう絡むかはまだ想像できませんが、関係人口の在り方や観光交流施設を入れればコンパクト・プラス・ネットワークの関連、市の財産の今後の在り方も入れられるかと思います。思いつきではありますが、観光振興計画の在り方として市の計画の進め具合等を追いかけてセンテンスを加えていく、意見を申し述べていくという方向性を一つ持ち、プラス市の所有する古くなってきている観光交流施設について、今後どういった運営

をするべきか、という点を見ていく形でいかがでしょうか。

○福山権二委員　　それでいいと思うのですが、庄原市が関係人口を増やそうというのは田舎を売ろうということなのでしょう。田舎のよさを売ろうと。ですから都会からも田舎に来てみてくださいと。お試しで泊まってみたり来て取り組んでみたら結構田舎もいいのではないかということです。東京は住みにくいため田舎に来て滞在してもらうというのはいい戦略で、来てみると田舎の教育も大変いいのではないかということでいえば、田舎を売るというのは悪いことではない。庄原の田舎を売ろうというスローガンで、皆さん一度来てみてくださいと。一度うちのものを食べてみてくださいと。米も「里山の夢」もありますし美味しいといったようなことを複合的に組み合わせて呼び寄せようということです。言ってみれば日本再生のプロジェクトのようなものです。そこを市はどうしようと思っているのかと、実際に聞きながら言えるのは非常に意味があると思います。

○吉川遂也委員長　　若干難しいのは、昨年までは関係人口の部局が自治定住課であったり企画課であったりしたのが、そこは全て外れておりますので、観光面についての関係人口というふうにテーマとしては全体にはならない。例えばお試し留学などを扱っているのは当委員会の所管から外れていますので、なかなかそこの線引きが完璧にはできませんが難しくなっている感じはいたします。ですから関係人口の創出という部分についても、観光を通じたというところに限定せざるを得ません。ＪＲの利用促進についても、観光面での利用促進という形に限定せざるを得ないかと思いますので、その辺りは少し注意しながら担当部局から離れないようにしてテーマを設定したいと思います。そのほか皆様からご意見はありますか。

○徳永泰臣委員　　有害鳥獣は別なのか。

○吉川遂也委員長　　有害鳥獣対策は現在も継続して進んでおります。まとめとして、第３期観光振興計画及び市内観光交流施設の在り方等について、としましょうか。また文言は事務局と取りまとめて最終的に提案をして、所管事務調査を本会議の中で決定していきたいと思いますので、よろしくお願いします。そういった方向でよろしいでしょうか。

〔「はい」との声あり〕

○吉川遂也委員長　　ではそのようにいたします。ほかに皆様から何かございますか。事務局からはございますか。では以上で産業建設常任委員会を散会します。

午前10時36分　　散　　会

－－

庄原市議会委員会条例第30条の規定によりここに署名する。

産業建設常任委員会

委　員　長